

反応分離シンポジウム2020

主催：化学工学会 反応分離分科会
協賛：化学工学会 膜工学分科会，分離技術会東海地区

日時
・
場所

2020年12月16日 16:00～17:30

Zoomオンライン会場

会費

講演会 無料

技術交流会は開催致しません

反応と分離それぞれの要素技術が高度化しプロセスの効率化が進んだ現在では、反応と分離の二つを有機的に結合させ、さらなる高効率（省エネルギー）化およびコンパクト化を目指した反応分離プロセスの開発が必要となってきます。今年度のシンポジウムは、ゼオライトを活用した分離技術および反応分離を中心に、一線で活躍される研究者をお招きしました。反応・分離の様々なプロセス・現象を活発に議論できる場になればと考えておりますので、ぜひ多くの方にご参加いただけることを願っております。

★ 講師・講演タイトル

高羽 洋充 氏（工学院大学）

「CHA型ゼオライト膜における
CO₂透過シミュレーション」

池田 歩 氏（産業技術総合研究所）

「ゼオライト膜と
それを利用した膜反応器の進展」

お申込・お問合せ先

下記，Googleフォームよりお申し込み下さい。

<https://forms.gle/AZDiDGgCqanuJz6z8>

参加申込頂いた方に後日，別途，アクセスURLと当日の資料入手方法をご案内致します。

参加申込にあたり，全ての発表の録画，録音，配布資料の無断での転載，複写，第三者への提供を禁止する旨に同意頂きます。

反応分離分科会・事務局

廣田雄一郎（名古屋工業大学）

hirota.yuichiro@nitech.ac.jp